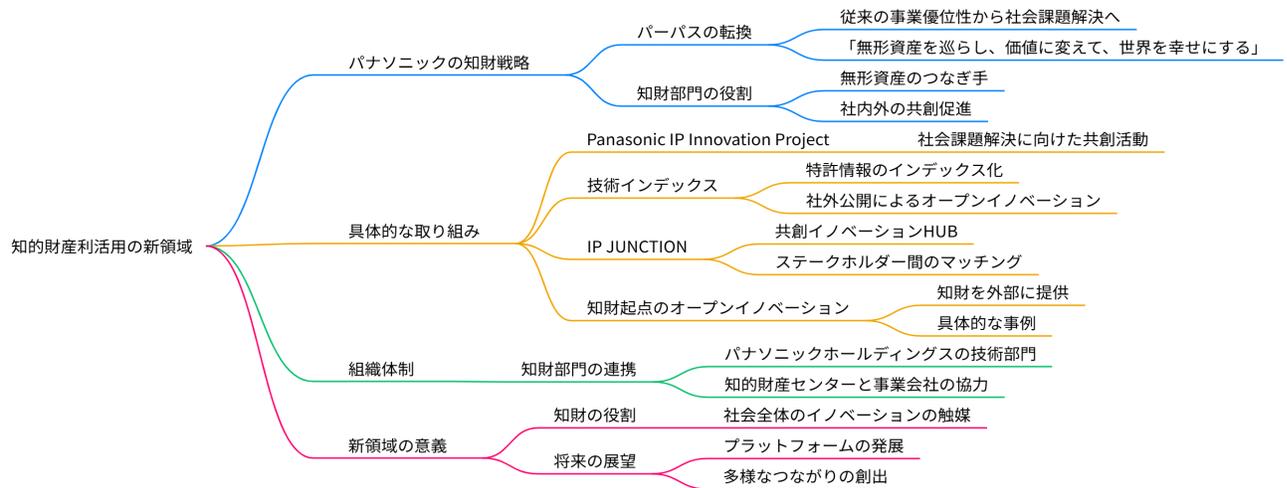


# 「知的財産利活用の新領域—パーパスに基づくパナソニック知財の取組みを深堀

Felo AI



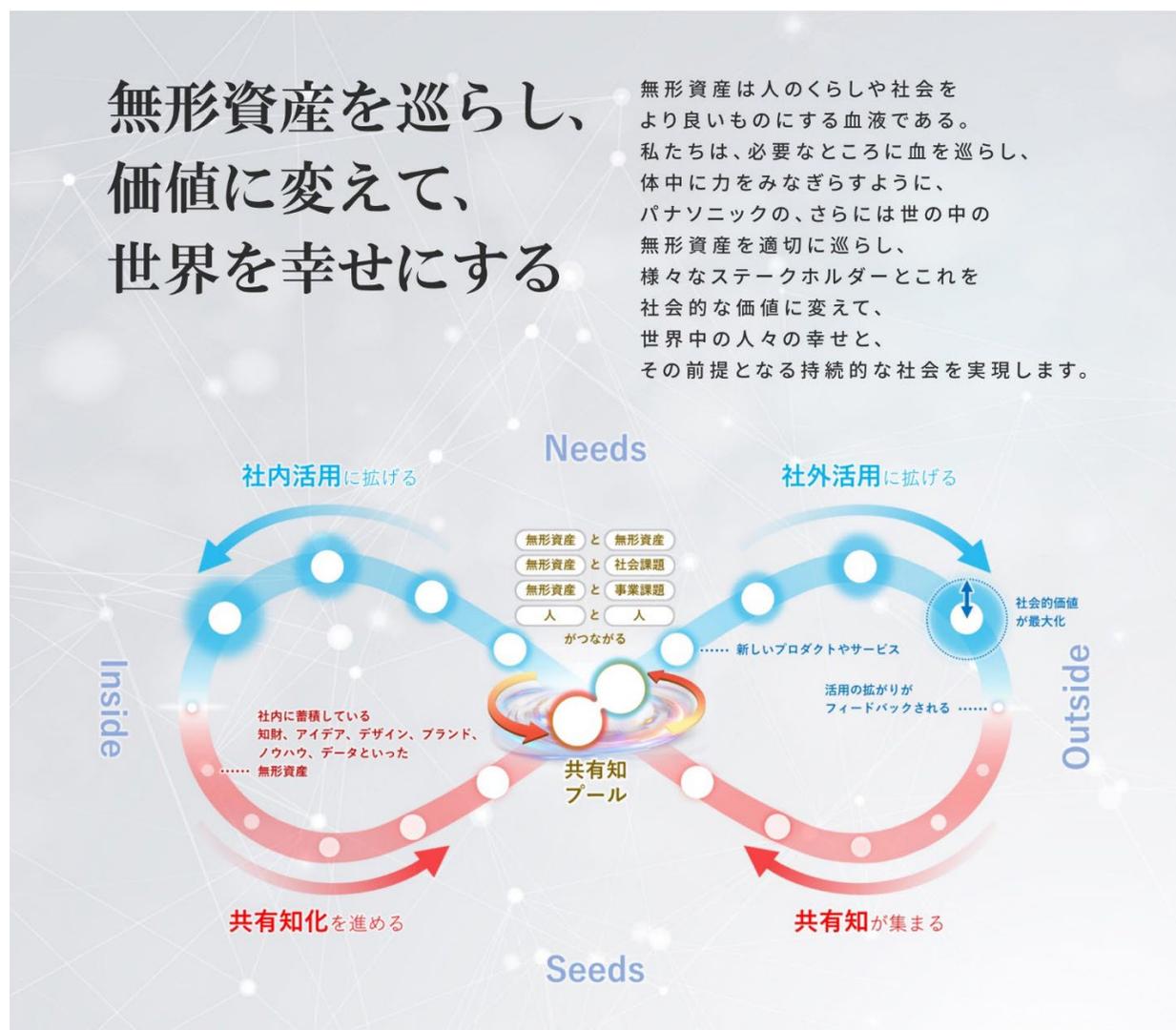
## Overview

パナソニックホールディングス（以下、パナソニック）は、知的財産（知財）戦略において、従来の事業優位性確保を主目的としたアプローチから、社会課題解決への貢献を重視するパーパス（存在意義）に基づいた新領域へと転換を図っている。この転換は、「無形資産を巡らし、価値に変えて、世界を幸せにする」という知財部門独自のパーパス策定に象徴される[2][17][34][36][67]。保有する 10 万件超の知財を含む「無形資産」を、自社利用に限定せず、社内外の多様なステークホルダーと「共創」するための「つなぎ手」として知財部門が機能することを目指している[3][6][12][32][66]。この戦略の下、「技術インデックス」や「IP JUNCTION」といったプラットフォームを構築・公開し、無形資産の「共有知化」「知の循環」「ネットワーク創造」を促進することで、オープンイノベーションを通じた社会課題解決を加速させようとしている[2][6][12][13][55][65]。

# 詳細レポート

## パナソニック知財のパーパス制定とその背景

パナソニックの知財部門は、2022年に「無形資産を巡らし、価値に変えて、世界を幸せにする」というパーパスを独自に策定した[2][34][36][65][67]。これは、従来の特許権、意匠権、商標権といった狭義の知的財産権だけでなく、データやノウハウなども含む広範な「無形資産」を対象と捉え直した点に特徴がある[3][37][66][68]。



このパーパスは、複雑化する社会課題に対し、一企業単独での解決が困難になっている現状認識に基づいている[34][65]。脱炭素などの巨大な社会課題解決に向けては、個社の技術や特許だけでは限界があり、多様な主体との連携が不可欠であるとの考えから、知財活動の軸足を、従来の事業優位性・安全確保から、社会課題解決への貢献へと移行させた[10][34][42][65]。特に、30代・40代の中堅メンバーが中心となり、将来を見据えて自部門の存在意義を示す旗印としてボトムアップで発案された点が注目される[37][65][68]。創業者の松下幸之助が提唱した「水道哲学」のように、価値ある無形資産を社会に行き渡らせる「知の水道哲学」とも位置づけられている[65][66]。

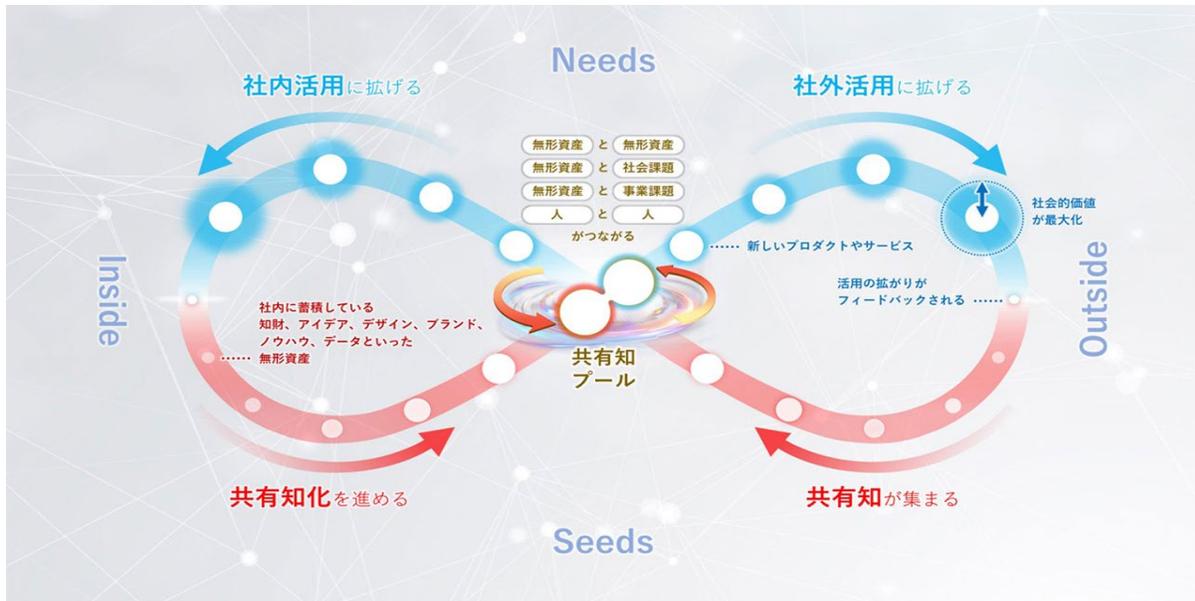
### パーパスに基づく知財戦略の転換

パーパス制定に伴い、パナソニックの知財戦略は大きく転換した。従来の知財を「資産」として保護し、独占排他的権利として収益化や参入障壁構築に主眼を置く考え方から、無形資産を社会の中で「巡らせる」ことで新たな価値を創出する方向へと舵を切った[10][14][38][41][42][44][56][66]。

この戦略転換において、知財部門は自らを「無形資産のつなぎ手」と再定義した[3][6][12][32][35][37][66][68]。グループ内に分散する無形資産を集約し、グループ横断での活用を促進するとともに、社外のスタートアップや大学、研究機関など多様なステークホルダーとの共創を積極的に推進する役割を担う[3][22][28][34][65][68]。これは、単に技術を提供するだけでなく、ニーズとシーズを結びつけ、新たな事業やイノベーションを生み出すためのプラットフォームとしての機能を目指すものである[66]。

### 具体的な取り組み：「共有知」「知の循環」「ネットワーク創造」

パーパス実現のため、パナソニックは「共有知」「知の循環」「ネットワーク創造」の3つの観点から具体的な取り組みを進めている[65]。これらの活動は「Panasonic IP(Intangible Property) Innovation プロジェクト」として推進されている[2][6][12][26][52][67][79]。



Panasonic IP Innovation Project 知財パーパスに基づき、社会課題解決に向けた共創活動群を推進するためのプロジェクトである[2][6][12][26][52][67][79]。無形資産 (Intangible Property) の活用によりイノベーションを起こすという意味が込められている[6][12][26]。

技術インデックス (Technology Index) パナソニックが保有する膨大な特許情報などの無形資産を、技術専門家以外にも分かりやすい言葉 (利用シーンや目的など) でインデックス化し、検索可能にしたシステムである[12][34][54][65]。当初は社内向けに開発されたが[65][66]、2023年9月には社外にも公開された[12][14][38][56][65]。これにより、社外の企業や研究機関などがパナソニックの技術シーズを発見しやすくなり、オープンイノベーションの起点となることを目指している[12][14][38][54][56]。技術の特長や課題解決ポイント、想定活用例をまとめた「テクノロジーカード」も用意されている[6]。



IP JUNCTION 「無形資産を巡らす共創イノベーション HUB」として位置づけられるプラットフォームである[2][6][13][51][55][67][82]。技術インデックスを中核に、無形資産の共有知化を進めるとともに、共創事例や関連イベント情報を集約・発信する[2][6][82]。これにより、多様なステークホルダー間のマッチングを促進し、新たな共創関係の創出を目指す[6][55][82]。

知財起点のオープンイノベーション® (IP-driven Open Innovation) パナソニックが推進する、知財を起点とした共創活動の総称であり、登録商標でもある[22][28][34][40][48][65]。自社事業での実施に限定せず、保有する無形資産を外部に提供・公開することで、社会課題解決に貢献する[22][40]。具体的な事例として、シンガ

ポールの水産養殖における魚の健康管理のために DNA センサー技術を提供したケースや[65]、低炭素技術の特許を無償開放する国際的な枠組み「Low-Carbon Patent Pledge (LCPP)」へ日本企業として初めて参画し、人工光合成関連技術を提供した例などが挙げられる[65]。

## 組織体制と推進

この新たな知財戦略を推進するため、パナソニックは組織体制も整備している。持株会社であるパナソニックホールディングスの技術部門知的財産部、パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社の知的財産センター、7つの事業会社の知財部門が戦略立案を担い、知財専門会社であるパナソニックIPマネジメント株式会社がオペレーションを実行するという連携体制を構築している[34][35][65][66]。社外との連携も強化しており、例えば東北大学とは「共創研究所」を設立し、知財を起点とした社会実装に向けた研究開発を共同で進めている[22][28][40][48]。



## 新領域としての意義と展望

パナソニックのパーパスに基づく知財戦略は、知的財産利活用の「新領域」を切り拓く試みといえる。これは、単なるライセンス収入や権利行使による事業防衛といった従来

の知財活動の枠を超え、知財を社会全体のイノベーションを加速させるための触媒と捉える考え方である[10][14][38][41][44][56]。

無形資産を「巡らせる」ことで、自社だけでは思いつかなかった活用法や、解決できなかった社会課題へのアプローチが生まれる可能性を追求している[65]。将来的には、「技術インデックス」のようなプラットフォームをさらに発展させ、他社の技術も取り込み、より広範な共創を促進することも視野に入れている[65]。活動全体を「リデザイン」していく視点を持ち[66]、知財部門がハブとなり多様なつながりを創出することで[68]、「世界を幸せにする」というパーパスの実現を目指している[66][67][68]。

1. [パーパスの実現を支える知財戦略：富士通 – Global \(English\)](#)
2. [知的財産 – パナソニック ホールディングス](#)
3. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これからの ...](#)
4. [活用事例 | 知的財産総合センター – 東京都中小企業振興公社](#)
5. [人材・組織体制 – 知的財産 – パナソニック ホールディングス](#)
6. [無形資産を巡らす共創イノベーション HUB「IP JUNCTION ...](#)
7. [知的財産部門ならではのつながりを活かして、「共創」を実現 ...](#)
8. [富士通 統合レポート](#)
9. [知的財産利活用の新領域：パーパスに基づくパナソニック知財 ...](#)
10. [事業の優位確保から社会の課題解決へ転換する知財戦略](#)
11. [特許/知財活用事例 9（知財情報を新製品開発に積極活用） | IP tips](#)
12. [お困りごとと技術をつなぐ、知的財産情報に基づく「技術 ...](#)
13. [無形資産を巡らす共創イノベーション HUB「IP JUNCTION ...](#)
14. [特許は参入障壁から共創の道具へ、知財起点で事業創出に挑む ...](#)
15. [富士通が重視する技術が海外特許で明らかに、注目は中国で ...](#)
16. [「月刊特許/別冊特許」 目録検索システム 日本弁理 ...](#)
17. [事業の優位確保から社会の課題解決へ転換する「パナソニック ...](#)
18. [事例から学ぶ！「知財戦略」 | 経済産業省 中小企業庁](#)
19. [【大阪/門真】技術・事業部門に密着した知財業務全般【PEX ...](#)
20. [「月刊特許/別冊特許」 目録検索システム 日本弁理 ...](#)
21. [「知財の力で変える未来 富士通の知財マッチングと社会課題 ...](#)
22. [「知的財産」で未来をつくる共創「パナソニック ...](#)

23. [パナソニック ホールディングス株式会社 - 日本弁理士会 関西会 |](#)
24. [技術活用・ユースケース : 知的財産 - NEC Corporation](#)
25. [パナソニック HD、知的財産を参入障壁から共創の資産へ](#)
26. [知的財産情報に基づく「技術インデックス」を公開 - PR TIMES](#)
27. [知財管理システム比較 13 選。メリットや機能、タイプ別の選び方](#)
28. [パナソニックと東北大、知的財産活用で共創 - 社会実装を推進](#)
29. [パナソニックホールディングス株式会社と意見交換を行いました](#)
30. [知的財産 : 企業情報 - NEC](#)
31. [パソナナレッジパートナー - 知財経営戦略 - 日経 BP スペシャル](#)
32. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これから ... - 知財図鑑](#)
33. [デジタルトランスフォーメーションを支える新しい知財](#)
34. [パナソニック ホールディングス株式会社 - 日本弁理士会 関西会 |](#)
35. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これから ... - 知財図鑑](#)
36. [知的財産 - パナソニック ホールディングス](#)
37. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これからの ...](#)
38. [知的財産を起点とした共創を目指すパナソニック](#)
39. [パナソニックの知財経営戦略 - 日経ビジネスを読んで | ma ko](#)
40. [「知的財産」で未来をつくる共創「パナソニック ...](#)
41. [パナソニック HD が攻めの知財戦略、技術を見せて協業相手募集](#)
42. [事業の優位確保から社会の課題解決へ転換する知財戦略](#)
43. [パナソニックと知的財産の歩み - Panasonic](#)
44. [パナソニック HD が攻めの知財戦略、技術を見せて協業相手募集](#)
45. [戦略化を促進する知財 BI が経営と知財の共通言語に](#)
46. [パナソニックグループの法務 - 総勢 600 名の“One Legal Team”](#)
47. [富士通統合レポート 2023\\_3. 事業戦略](#)
48. [「知的財産」で未来をつくる共創「パナソニック ホ...](#)
49. [知的財産部門 - 事業紹介 - Panasonic](#)
50. [人材・組織体制 - 知的財産 - パナソニック ホールディングス](#)
51. [無形資産を巡らす共創イノベーション HUB「IP JUNCTION ...](#)
52. [無形資産を巡らせる共創イノベーション活動が国内外で本格化 ...](#)
53. [パナソニック IP マネジメントが取り組む AI との共創による知財 ...](#)
54. [知的財産情報に基づく「技術インデックス」を公開 - PR TIMES](#)

55. [IP JUNCTION – 知的財産部門 – パナソニック ホールディングス](#)
56. [パナソニック HD、知的財産を参入障壁から共創の資産へ](#)
57. [パーパスの実現を支える知財戦略：富士通 – Global \(English\)](#)
58. [富士通のパーパスの実現を支える知財戦略 – Global \(English\)](#)
59. [CEO からのメッセージ | 富士通](#)
60. [富士通における知財活用の取り組み](#)
61. [日経「知財経営ランキング」で12位の富士通](#)
62. [富士通株式会社と意見交換を行いました | 経済産業省 特許庁](#)
63. [2024年11月25日\(月\) 特許実用新案部会～富士通の知財戦略...](#)
64. [富士通社員と考える新たな働き方 in 別府 【Well-being/My ...](#)
65. [パナソニック ホールディングス株式会社 | 日本弁理士会 関西会](#)
66. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これからのパナソニックグループが目指す知財部門の姿とは | 知財図鑑](#)
67. [知的財産 – パナソニック ホールディングス](#)
68. [無形資産を巡らせた先にある豊かな未来。これからのパナソニックグループが目指す知財部門の姿とは | 経営・財務 | 企業・経営 | 特集 | Panasonic Newsroom Japan : パナソニック ニュースルーム ジャパン](#)
69. [富士通のパーパスの実現を支える知財戦略：富士通](#)
70. [富士通のパーパスの実現を支える知財戦略 – Global \(English\)](#)
71. [事業の優位確保から社会の課題解決へ転換する知財戦略](#)
72. [パーパスの実現を支える知財戦略：富士通 – Global \(English\)](#)
73. [富士通統合レポート 2023\\_\\_3. 事業戦略](#)
74. [パナソニックホールディングス株式会社と意見交換を行いました](#)
75. [パナソニックと知財図鑑が知財を活用した「未来実装...](#)
76. [enXross 2nd 協賛企業インタビュー・パナソニック ... – note](#)
77. [CEO からのメッセージ | 富士通](#)
78. [「知財の力で変える未来 富士通の知財マッチングと社会課題...](#)
79. [無形資産を巡らせる共創イノベーション活動が国内外で本格化...](#)
80. [「SX のための DX」富士通が取り組むパーパス経営 – JBpress](#)
81. [共創事例 – IP JUNCTION – 知的財産部門](#)
82. [知的財産 – パナソニック ホールディングス](#)
83. [パーパスとミッション、ビジョンの違いは？意義や事例と...](#)

84. [富士通のブランド価値向上に貢献。「攻め」と「守り」の姿勢 ...](#)
85. [富士通社員と考える新たな働き方 in 別府 【Well-being/My ...](#)
86. [特許は参入障壁から共創の道具へ、知財起点で事業創出に挑む ...](#)